課題解決型高度医療人材養成プログラム
選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント

［取組１］医師・歯科医師を対象とした事業
（１）横断的な診療力とマネジメント力の両方を兼ね備えた医師養成
②　災害医療領域

整理番号	3

申請担当大学名（連携大学名）	新潟大学
事業名	発災～復興まで支援する災害医療人材の養成
事業責任者	大学院医歯学総合研究科 地域医療推進・教育学講座 特任教授　高橋 昌

事業の概要

本プログラムは、新潟大学災害医療教育センターを中心に、新潟医療人育成センターと連携して実施する。全国で養成の必要性が叫ばれている高度災害医療人材、すなわち「超急性期から亜急性期、慢性期、復興期まで災害医療の全時相を熟知」し、医療職種はもちろん、他職種・行政機関とも組織横断的に連携して「避けられる災害死」「災害関連健康被害」を最小限に食い止めるマネジメント力を有する次世代高度災害医療人材養成プログラムを実施する。

対象者は「初期研修修了後の医師」を対象としたコースと、「他職種（医療従事者、行政担当者）」を対象とするコースを設定し、両コースに共通のコーディネート研修を設定し、組織横断的連携体制の構築を学ぶ。国立病院機構災害医療センター、日本赤十字社医療センターとも連携し、平時の備えから実践まで全国地域のリーダーとなる次世代高度災害医療人材を養成、併せて教育カリキュラムの普及を目指す。

推進委員会からの主なコメント　　○：優れた点等、●：充実を要する点等

○超急性期、亜急性期、慢性期、復興期の災害サイクル重視した人材養成プログラムであり、国立病院機構、日本赤十字社との連携をはかり新潟から全国に発信する意欲的なプログラムである。
○地域全体としての災害対応力を上げようという試みであり、災害医療の時間的空間的広がりに配慮したプログラムである。
○中越地震、中越沖地震を経験しており、何が必要か熟知しているところが評価できる。
○全国に先駆けて災害医療コーディネーター制度を実施しており、実績があり、実効性が高い。
○新潟大学災害医療教育センター、新潟医療人育成センター、新潟大学災害復興・科学研究所といった基盤が構築されているところが評価できる。
○既存の様々な災害・救急医療研修コースを最大限活用するところが評価できる。
●教育プログラム・コースについて既存のそれぞれ認証システムを有する研修コースとの違いなどを明確にすることが望ましい。
●対象である後期研修医、一般医師、医療職、行政職、それぞれの職域や権限を明確にした研修計画であることが望ましい。
●より広範囲な評価者による評価及び PDCA サイクルを回すような運営体制の充実が望まれる。
●全国へ向けていかに教育カリキュラムを普及させるのか、更なる検討が望まれる。
●多彩な履修科目等がプログラムとして用意されている点は評価できるが、履修者がより履修しやすい環境整備・運用方法を検討していただきたい。